



## 車検通過をめざして

KF-works

KF-works

<http://www.env.kitakyu-u.ac.jp/kfwork/>



### 今回の総合結果・部門賞

●総合83位

### Profile チーム紹介・今までの活動

今年は、チーム史上初めての車検通過を目標に活動してきました。しかしながら、今年の車両はシェイクダウン証明を提出することができず、静的審査のみの参加となりました。

### Team-member チームメンバー

#### 内山 一樹 (CP)

吉山 定見 (FA)、松永 良一 (FA)、長 弘基 (FA)、  
筒井 千愛、赤松 高志、大堀 亮介、高瀬 雄生、  
粟田 裕介、清水 裕介、西見 陽至、福田 祐、  
松尾 佳典、吉田 美尋、井上 智之

### Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、F.C.C.、ソリッドワークス・ジャパン、  
住友ゴム、ソフトウェアレイドル、デジタルステージ、  
dawu化工、THK、ウエストレーシングカーズ、  
キノコニエンタープライズ、  
豊田レンタリース福岡 共立大前店、協和工業、  
深井製作所、NTN、北九州市立大学国際環境工学部、  
北九州市立大学国際環境工学部機械システム工学科、  
北九州産業学術推進機構

## Presentation プレゼンテーション

マシン名: KF02

昨年度の車両のフレームは、外注して作ってもらっていたものを、今年は自分たちで溶接して作り上げました。初めて一から製作することで、数多くの難題にぶつかりながら車両を製作してきました。他チームではぶつからないような壁にも多く突き当たりました。フレームを作る前の治具を設計するところや、溶接の練習をするところ、さらには、フレームと他の部品との干渉など、その数は計り知れない程です。そのひとつひとつに考え、修正を行ってきました。

また、昨年度のマシンは走行しておらず、走行データもない中での設計・解析・製作となりました。その中で自分たちの作れる最高の車両をめざしてきました。また、次年度以降に繋がるような考え方、設計を行ってきました。昨年度の車両ではエアサスペンションを使用していましたが、荷重に耐えることができずに、作動しませんでした。今年はバイク用の一般的なスプリングダンパーを使用しております。また、新素材のアルミのエンボス材を用いたファイヤーウォールを作成しました。その他には、車検通過、そしてドライバー経験がある者がいないという理由から、よりベシクなペダル、シフトのレイアウトとしました。来期以降はここからさまざまな改良を加えていく予定です。

## Participation report 参戦レポート

私たちのチームにとっては、チーム史上2台目の車両です。今年はシェイクダウン証明提出が間に合わず、静的審査のみの参戦となってしまいました。

1日目は、車両の修復とデザイン審査に出場しました。大会会場への輸送中にAアームが1箇所折れ、それを修理工房にて修復してもらいました。また輸送のために外していたアッテネーターやファイヤーウォール、電装品の取り付けを行い、デザイン審査に臨みました。2年生主体のチームで、知識不足もあり、なんとか受け答えができたという感じです。

2日目は、プレゼンテーション審査に出場しました。質疑応答の際に少し詰まってしまいました。3日目は、模擬車検を受け、実際の車検官の方に、現車両のさまざまなことを指摘して頂きました。どこをどのように改善すれば良いのかを、学ぶことができました。各静的審査のフィードバックでは、我々のチームが良い点を取れなかった理由を勉強することができ、またそれをどのように改善すれば、得点を取れるようになるかを勉強することができました。

4日目は全てのフォローアップセミナー、フィードバックに参加しました。その後は、他の大学のピットを見学させてもらいました。また、動的審査を見に行き、来年こそはという気持ちで奮い立ちました。

**Team-Movie** <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/12th/movie/66.html>